

熊本市議会  
[市民連合]

みなさん、こんにちは  
市議会だよりです

2017年夏号  
(通算 No.200)  
(発行) 市民連合  
市議会だより編集部  
[議員室] TEL(096) 328-2650  
FAX(096) 324-7777

第2回  
定例会

補正額30億7,357万円、総予算6,920億円余  
九州市長会と九州地方知事会で全国初の防災連携へ

第2回定例会は、6月8日(木)から開催され69議案を可決・承認し6月23日(金)に閉会しました。予算案件では、一般会計24億6,977万円、特別会計6億100万円、企業会計280万円などの補正予算案を審議し、可決しました。結果、予算規模は、一般会計3,972億9,477万円、特別会計2,224億1,857万円、企業会計723億1,556万円で、合計の補正額では30億7,357万円、総予算額6,920億2,890万円となりました。予算以外では、条例8、人事17、意見書4件等を可決しました。



▲桜が満開した頃から本格的な工事が始まった熊本城  
(写真は飯田丸、撮影4月12日)

被災者支援、公共施設復旧に予算

6月8日の開会日、大西市長は冒頭、5月に児童買春の容疑により逮捕された消防職員の懲戒免職処分の報告と謝罪を行い、市政の信頼回復に全力で取り組むことを表明しました。また、市長自身の病氣療養の経過報告に続き、九州市長総会での、大規模災害発生時の各市の相互の支援体制確立や、これを受けての九州市長会と九州地方知事会による、全国で初となる防災連携を定めた覚書締結等の報告がありました。

新年度予算の主な事業内容は以下の通りです。

1. 被災者への経済的な支援に関連する経費

- 災害見舞金支給経費 2,500万円
- 災害援護金貸付事業 2,500万円
- 災害弔慰金支給経費 1,600万円

2. 生活支援のための経費

- 被災者の見守り対策として、仮設住宅に入居する独居高齢者等の世帯に緊急通報システム設置経費 6,000万円

3. 公共施設の復旧に関連する経費

- 熊本城災害復旧経費 16億1,170万円
- 中央公民館・中央老人福祉センターの機能を有する複合施設(白川公園内)の整備経費 5億8,190万円

●市指定の民間所有文化財の復旧補助経費

9,200万円

●復興城主の募集関連経費

4,990万円

4. 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の熊本地震に伴う保険料減免の保険料還付の経費

6億100万円

5. 市民病院の立体駐車場解体設計経費

280万円

【一般質問】 会派の市民連合からは田尻将博議員と西岡誠也議員が登壇し、田尻議員は「本市の経済成長の見通し」「地域組織の諸課題」、西岡市議は「少子高齢化対策」「臨時・非常勤職員の処遇改善」などについて質問しました。

常任委員会 予算決算委員会 各分科会 報告

総務委員会 福永洋一

委員会では、予算2件、条例6件、その他2件を審議した。「個人情報保護条例・個人番号の利用、提供に関する条例改正」について、他自治体との情報共有が可能となるが、個人情報の取り扱いに留意し、セキュリティ対策を万全に行うよう意見があった。また、専決処分2件の昨年の本庁舎10階の火災に伴

う、パソコン等のリース機器の損害賠償(総額2,100万円)について、支出の妥当性やリース機器の保険加入のあり方等、意見要望があった。報告として、「国際戦略策定」「地域防災計画の改定概要」「水防計画の見直し」「第5次行財政改革計画」「辛島地下駐車場と(仮称)熊本城ホールの一休管理(案)」等が示された。

教育市民委員会 田尻将博 大塚信弥

今回の委員会では、白川公園内複合施設整備事業についての進捗状況が説明がされ、その後議論が行われた。特に現行案では、施設利用者の駐輪場不足や有料化が懸念されることから、今後駐輪スペースの確保に向けた様々な検討を行うように要望が挙げられた。

処理施設の廃止にあたり、その跡地利用については、地元住民の意見を聴取し、最善の活用方法について十分に検討してもらいたいとの意見要望が述べられた。

また旧植木町大和地区の汚水

4月から新設された地域担当職員の活動内容が報告され、今後一層各地域の現状や課題を把握し市民サービスの向上につなげるよう要望が述べられた。

厚生委員会 田上辰也 西岡誠也

①「高齢者が安心して暮らせる生活の支援」として、第7期高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体的なものとして今年度中に策定する。期間は、平成30年度から平成32年度の3年間。②白川公園複合施設整備事業は、中央公民館と老人福祉センターの機能を持つ施設として、平成31年4月オープン

目指して建設予定。また、大規模災害に備えた安全な施設として設計中。③「熊本市障がい福祉計画(第5期)」の策定は、アンケート等の基礎調査を行い、円滑な提供と見込み量の確保のための方策を定め、今年度中に策定。また、障害児福祉計画も一体的に策定。期間は、平成30年度から平成32年度の3年間。

環境水道委員会 家入安弘 田辺正信

今回の委員会にて集中して審議が行われたのは、「熊本市東部堆肥センター条例の制定」に関連するものであった。堆肥センターは、本市の重要な水道水源である東部地域に、硝酸性窒素による地下水汚染を防止し、周辺環境と調和のとれた畜産業の発展を図るため設置されるものである。

対象になる農家は40戸とのことであったが、料金設定の根拠、不法投棄対策、農家への対応、指定管理者の基準、牛以外の家畜にも対応できるのか等、多くのことについて指摘がなされた。特に、養豚業についても考えるべきだとの指摘には、養豚業者から話があるとのことであった。

経済委員会 村上博

1. 第5次行財政改革の進捗状況、2. 競輪事業外部検討委員会の設置、3. 熊本城ホール状況、4. 県と本市との連携による文化芸術振興の覚書、5. 熊本城の復旧状況についてそれぞれ報告。主な補正予算内容は、労務単価の増額によるインフレスライドとして、水前寺競技場改修や文化財保存修復経費、合わせて

600万円余を計上。民間所有で市が指定している文化財の復旧経費、負担金や補助金として9,200万円を計上。熊本城復旧経費として16億円余、熊本城復興城主の募集経費として4,990万円が計上された。大ホール復旧工事中の市民会館は12月終了予定、来年度から指定管理へ移行する。

都市整備委員会 上田芳裕

都市整備委員会では、特に「市電延伸」と「桜町・花畑地区のオープンスペースデザイン」についての検討状況の報告があった。市電延伸については、これまで5ルートでの検討から、今回「自衛隊ルート(健康電停→自衛隊通り)→新市民病院」を優先し検討すること、また「桜町・花畑地区のオープンスペ

ス」については、桜町再開発施設(熊本城ホール・バスターミナル・ホテル・商業施設・マンション等)の完成後の平成31年度移行に、熊本城御幸橋から辛島公園に通じる一帯をシンボルプロムナード化するとし、そのデザインが公表された。いずれも多額の予算が伴うことから、今後慎重に議論していくことになる。

所属委員会の変更

議員名	役職	所属委員会
田尻 将博	団 長	教育市民、予算決算、議会運営、北口和皇議員の不当要求行為等に関する調査
家入 安弘	副 団 長	環境水道、予算決算、予決理事
西岡 誠也	幹 事 長	厚生、予算決算、議会運営、人口減少社会に関する調査
上田 芳裕	政調会長	都市整備、予算決算、議会運営、人口減少社会に関する調査、政策条例
田辺 正信	総務局長	環境水道、予算決算、公共施設マネジメント調査
村上 博		経済、予算決算、予決理事
田上 辰也		厚生、予算決算、北口和皇議員の不当要求行為等に関する調査、政策条例、議会活性化検討会
福永 洋一		総務、予算決算、人口減少社会に関する調査、議会広報
大塚 信弥		教育市民、予算決算、議会広報、議会活性化検討会

採択された意見書

- ライドシェアの導入に反対し、安心・安全のタクシーを求める意見書
  - 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書
  - 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
  - ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ※なお、市民連合提出の「労働基準法等改正案の撤回」「共謀罪創設」と同趣旨の『改正組織犯罪処罰法』の廃止を求める意見書は、不採択となりました。

